

教育センターだより

本年度の教育センタースローガン

「10年後保証」の教育 を見据え
目の前の子どもに「アジャスト」 した教育を
推進する「原動力」 となって…



香川県教育センターは、今年度9月で創立 50 周年を迎えます。これもひとえに、当センターを支えていただきました皆様方のお力添えの賜物と、深く感謝申し上げます。

さて、私たちの仕事は、「子どもたちの夢と笑顔を大切にする香川の教育」を支え、推し進めることです。そのためには、「10年後の子どもたちの姿」を見据え、『先生が考える目標』と『子どもたちの現状』とのギャップを察知・発掘し、改善できる先生を増やしていくことが重要であると考えています。先生の世代交代が大きく進む現状においては、なおのこと重要だと考えています。

先生方が、近い将来のその学校や子どもたちの姿を見据え、目の前の子どもたちのエラーに「アジャスト」した教育活動を一層推進することができるよう、教育研究、教職員研修、教育相談、カリキュラムセンターの4つの事業を通し、引き続き、全力でバックアップしてまいります。

令和3年4月 香川県教育センター 所長 黒川 統夫

香川県教育センターの調査研究をご活用ください

令和3年度 調査研究事業【計画】 今年度、教育センターが取り組む研究テーマです。

調査研究 1

ICT の効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究

タブレット端末や学習支援ツール等 ICT の効果的な活用を図りながら、児童生徒一人一人の学びに関する個別の学習状況を把握するとともに、個に応じた効果的な指導に関する調査研究を行います。

調査研究 2

全国及び香川県の学習状況調査からうかがえる本県の課題と今後の取組

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析(調査報告書等)によって、学校での改善に向けた取組を支援します。



令和2年度 研究発表会【報告】

教育センターでの集合型研修ではなく、オンデマンド配信で実施しました。(配信期間:令和3年2月19日～3月5日)香川県内だけでなく県外からも数多くの方に視聴していただきました。



研究発表冊子は、香川県教育センター Webサイトからダウンロードできます。(教職員用 ID とパスワードが必要です。)



～ 研究発表 ～

「個別最適化された新たな学び」に関する調査研究 ～教師の形成的評価 + 児童生徒の振り返り で授業を変える～

香川県教育センター協力学校の実践を基に、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の方向性について、「学習評価」と「振り返り活動」に焦点を当てて提案しました。また、タブレット端末を活用した授業実践(小学校国語、算数)の成果と留意点について紹介しました。

【視聴者感想】

- ・コロナ禍の中、研究発表をしていただき大変参考になりました。ありがとうございました。学習における振り返りの重要性を再確認することができました。
- ・動画は適度な長さで内容が分かりやすく、とても理解しやすかったです。発表資料はしっかりとまとめられており、勉強になりました。



情報教育に関する調査研究

～1人1台 + ネットワーク で授業を変える～

児童生徒が端末を学習ツールの1つとして日常的に活用できることを目指し、カリキュラム・マネジメントの視点を含めた「情報活用能力の育成」について提案しました。また学習支援ツールや Web 会議システムを活用した新たな学びについて、その効果や指導方法の工夫等について提案したり、実践事例を紹介したりしました。

【視聴者感想】

- ・これから育成が求められる情報活用能力や ICT の効果的な活用について、簡潔明瞭に説明していただきました。学んだことを校内での研修で共有・活用していきたいです。
- ・これから特に必要となる分野でためになりました。教員のスキルの向上について、具体的な内容や研修方法の開発が授業での活用に先行して必要であるように思いました。



～ 講演 ～

(演題) 人工知能は教育をどう変えるのか

東京大学 大学院情報理工学系研究科 AI センター 教授 松原 仁 先生

私たちの生活の色々な場面で利用されるようになってきた人工知能について、「人工知能が得意なこと苦手なこと」「人工知能と人間の新たな関係」など様々な視点から分かりやすく説明していただきました。また、「AI 時代の教育において求められるもの」については、「やるべきことを見つける能力や人間性を身に付ける教育が必要であり、教育の重要性はこれまで以上に高くなる」等、貴重な御示唆をいただきました。



子ども・保護者支援に悩んだら、教育センターへご相談ください！

教育センターの相談窓口

子どもや保護者、教職員からの学校教育・家庭教育に関する悩みの相談に応じています。子どもや保護者にもご紹介ください。

電話相談

子ども電話相談

087-813-3119 (子ども専用)

*相談時間 9:00~21:00(通年)

子育て電話相談

087-813-2040

*相談時間 9:00~21:00(通年)

24時間いじめ電話相談 (24時間子供SOSダイヤル)

087-813-1620

0120-0-78310

*相談時間 24時間(通年)

子どものネットトラブル相談

087-813-3850

*相談時間 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)

9:00~17:00



来所相談

087-813-0945(予約受付)

*相談時間 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)

9:00~17:00

第2、4土曜日(祝日・年末年始を除く)

13:00~17:00

*臨床心理士による相談もできます

メール・FAX 相談

kesoudan@kagawa-edu.jp

087-881-3272

*メール・FAXの返信には時間がかかることがあります

教職員からのご相談

087-813-0945 (教育相談課)

教育相談窓口一覧へ



教育相談支援活動

教育相談課では、学校における教育活動を支援するために、次のような活動を行っています。ご活用ください。

コンサルテーション

教育相談、特別支援教育、生徒指導に関する専門的な助言・支援を行います。

※問い合わせ先 **087-813-0945** (教育相談課)

★来所・電話によるコンサルテーション

・子どもや保護者への関わり方や学級集団の人間関係づくり、特別支援の視点を生かした関わり方など学校で行う指導支援の在り方についての相談を受け付けています。

★学校等を訪問して行うコンサルテーション

・学校等が主催する教育相談や生徒指導、特別支援教育に関する研修の講師を務めたり、個別のケース会議に参加したりしています。

★学校支援アドバイザーの派遣・活用

・福祉や心理の専門家である学校支援アドバイザーが学校を訪問し、対応の難しい問題についての解決の道筋を一緒に考えます。(対象は公立小中学校)

指導資料・参考資料

校内研修等での指導資料、学校の緊急対応時の参考資料を提供しています。

☆オンライン研修「教育相談のいろは」 ※教育センターweb ページ(オンライン研修)に掲載

☆教職員のためのサポートブック ※教育センターweb ページ(オンライン研修)に掲載

・「保護者とのよりよい関係を築くために」等

☆「心と身体のチェックリスト」 ※教育センターweb ページに掲載

・突然の災害や事故、事件に遭遇した子どもたちのサポートのためのチェックリスト

・教職員向けのチェックリスト実施の留意事項、家庭での関わり方や観察のポイント



今年度の教育センターの事業をご紹介します。

令和3年度 公開講演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。
詳しくは『研修講座案内』又は Web サイトをご覧ください。



期 日	演 題	講 師（敬称略）
5/11(火)	災 害 共 済 給 付 事 務	日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー
6/ 4(金)	子 供 た ち の ネ ッ ト 利 用	三 光 病 院 院 長 海 野 順
6/15(火)	『主体的・対話的で深い学び』のためにー学習意欲とメタ認知から考えるー	香 川 大 学 准 教 授 岡 田 涼
7/29(木)	働き方改革と学校管理職のリーダーシップ	愛媛大学大学院教育学研究科 教 授 露 口 健 司
8/ 3(火)	学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	滋賀大学教職大学院 教 授 大 野 裕 己
8/ 5(木)	キ ャ リ ア 教 育 の 在 り 方	国立教育政策研究所 総括研究官 長 田 徹
8/17(火)	コ ロ ナ 禍 で 求 め ら れ る 教 師 の 役 割	文 教 大 学 教 授 会 沢 信 彦
8/17(火)	小学校国語の授業づくり-ICTを活用する時代の個別化とアクティブ・ラーニングの学習-	元 文 部 科 学 省 教 科 調 査 官 井 上 一 郎
8/25(水)	就学前における特別支援教育コーディネーター	香 川 大 学 准 教 授 松 井 剛 太
11/11(木)	特 別 支 援 教 育 （ 発 達 障 害 ）	香 川 大 学 教 授 坂 井 聡
1/ 5(水)	社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント	甲 南 女 子 大 学 教 授 村 川 雅 弘

カリキュラムセンター事業

◆ 研修サポート

指導主事を派遣し、各学校の研究テーマや課題に沿った指導や助言、研修支援を行います。
（令和2年度実績：441件）

◆ 研究相談

教育実践上の諸問題等について、来所や電話、メール等により教職員からの相談に応じます。
（令和2年度実績：354件）

◆ 教育ライブラリー

〔所蔵資料〕（令和2年度末現在）

- ・教育図書 12,140 冊
- ・研究紀要・論文等 16,614 点
- ・教育雑誌 28 種類
- ・視聴覚資料、各社の教科書 他

〔閲覧・貸出等〕

- ・開室時間 9:00～17:00（月～金）
9:00～16:00（土）
（ただし、土曜日は原則として 13:00～14:00 閉室）
- ・貸出冊数 1 回につき 5 冊まで
- ・貸出期間 15 日間

◆ Webサイト

学習指導案や調査研究報告書など、教育活動に役立つ資料を収集・作成し、情報提供します。
また、教職員研修を効率的・効果的なものにするため、オンライン研修事業を推進します。

◆ 学校教育力向上支援事業（さぬき学びの支援隊）

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の資質・能力の向上に向けた支援を行います。

〔令和2年度実績：〕

- 支援隊登録者数 326 人
- 派遣校数 115 校
- 派遣時間総数 7,924 時間

◆ スクールアドバイザー派遣事業

保健に関する指導力や食に関する指導力、校務分掌遂行力に優れた教職員をスクールアドバイザーとして委嘱し、研修活動等におけるアドバイザーとして学校に派遣します。

- ・内容（保健指導、栄養指導）

◆ 施設開放

県内の教職員団体やグループに対して、その自主的研修や調査研究の場として、研修室を無料で貸し出します。

- ・貸出時間 9:00～16:30（月～土）
（令和2年度実績：118 団体 3,091 人）

◆ インターネットによる学校支援

インターネットで各学校と教育センターとを結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、様々な教育情報や各種サービスを提供します。